



## 平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 小林製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4967 URL <http://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 章浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡

TEL 06-6222-0142

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	107,653	—	17,149	—	16,992	—	11,740	—
28年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 13,196百万円 (—%) 28年12月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	149.08	148.86
28年12月期第3四半期	—	—

当社は平成28年6月29日開催の第98期定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成28年度より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成28年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率及び平成28年12月期第3四半期の連結経営成績(累計)については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	205,357	147,445	71.8	1,867.81
28年12月期	201,234	143,320	71.2	1,818.10

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 147,400百万円 28年12月期 143,252百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	25.00	—	27.00	52.00
29年12月期	—	28.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	26.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	—	20,000	—	21,000	—	15,100	—	191.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成28年6月29日開催の第98期定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成28年度より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、前連結会計年度は経過期間となり、対前期増減率については記載しておりません。

[参考] 下記の%表示(調整後増減率)は、前期実績を12ヶ月(平成28年1月1日～平成28年12月31日)の期間に合わせて平成29年12月期の業績予想と比較した増減率です。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	(単位: 百万円)
150,000	20,000	21,000	15,100	
3.6%	8.4%	3.1%	0.5%	

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期3Q	82,050,000 株	28年12月期	85,050,000 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

29年12月期3Q	3,133,537 株	28年12月期	6,257,437 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	78,757,102 株	28年12月期3Q	— 株
-----------	--------------	-----------	-----

当社は平成28年6月29日開催の第98期定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成28年度より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成28年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年12月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)については記載しておりません。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は平成28年6月29日開催の第98期定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成28年度より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成28年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率及び平成28年12月期第3四半期連結累計期間については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国の経済は、政府による景気対策の継続などにより企業収益や雇用の改善など回復基調に推移しているものの、個人消費については依然厳しい状況が続いています。

そうした状況のなか、当社グループは「“あったらいいな”をカタチにする」をブランドスローガンに、お客様のニーズを満たす新製品の発売や、既存製品の育成、今後の成長事業への投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は107,653百万円、営業利益は17,149百万円、経常利益は16,992百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,740百万円となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりです。

国内家庭用品製造販売事業

当事業では、黒ずんだひじ・ひざのザラザラ治療薬「クロキュア」、皮脂枯れ肌改善薬「ヒシモア」、就寝時に口に貼りつけ鼻呼吸を促す「ナイトミン 鼻呼吸テープ」、厳選された香りオイルを使ったホームフレグランス「Sawaday (サワデー) 香るStick (スティック) アロマ」、プレミアム処方のシミ対策クリーム「ケシミンクリームEX (イーエックス)」、スキンケアオイル「バイオイル」など春に11品、秋に18品の新製品を発売し、売上に貢献しました。

既存品においては、ヘルスケア (旧・薬粧品) では背中・デコルテなどのブツブツ治療薬「セナキュア」や顔などのかゆみ・かぶれ治療薬「キュアレア」などのスキンケア医薬品、女性保健薬「命の母A」やちくのう症改善薬「チクナイン」、しつこい咳・気管支炎を改善する漢方薬「ダスモック」などの漢方・生薬製品、日用品ではおりもの専用シート「サラサーティ」や水洗トイレ用芳香洗浄剤「ブルーレット」、スキンケアではシミ対策スキンケア「ケシミン」やスキンケアクリーム「マダムジュジュ」などが好調に推移しました。

その結果、売上高は90,329百万円、セグメント利益 (経常利益) は16,039百万円となりました。営業利益は16,241百万円となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は当第3四半期連結累計期間では4,542百万円となっております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
	金額 (百万円)
ヘルスケア (旧・薬粧品)	42,292
日用品	37,378
スキンケア	4,346
カイロ	1,768
合計	85,786

海外家庭用品製造販売事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」などを販売しており、広告や販売促進など積極的に投資することで、売上拡大に努めました。

その結果、売上高は14,332百万円、セグメント利益（経常利益）は391百万円となりました。営業利益は467百万円となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は当第3四半期連結累計期間では829百万円となっております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
	金額 (百万円)
米国	4,688
中国	4,146
東南アジア	3,055
その他	1,611
合計	13,503

通信販売事業

当事業では、栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告やダイレクトメールを中心とした販売促進による、新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

その結果、売上高は7,448百万円、セグメント損失（経常損失）は109百万円となりました。営業損失は111百万円となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

その他事業

当事業には、医療関連事業、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は4,789百万円、セグメント利益（経常利益）は1,025百万円となりました。営業利益は531百万円となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は当第3四半期連結累計期間では3,874百万円となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ4,123百万円増加し、205,357百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少(5,824百万円)、受取手形及び売掛金の減少(1,063百万円)、有価証券の増加(2,800百万円)、商品及び製品の増加(4,893百万円)、投資有価証券の増加(3,462百万円)等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、57,912百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加(1,336百万円)、未払金の減少(656百万円)、未払法人税等の減少(356百万円)、未払消費税等の減少(278百万円)等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,125百万円増加し、147,445百万円となり、自己資本比率は71.8%となりました。主な要因は、資本剰余金の減少(775百万円)、利益剰余金の減少(5,240百万円)、自己株式の減少(8,707百万円)、その他有価証券評価差額金の増加(1,682百万円)等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の連結業績予想につきましては、平成29年2月1日付け公表の「平成28年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,173	52,348
受取手形及び売掛金	47,045	45,982
有価証券	5,500	8,300
商品及び製品	9,222	14,116
仕掛品	751	1,057
原材料及び貯蔵品	2,832	2,949
繰延税金資産	2,899	3,427
その他	2,267	2,432
貸倒引当金	△45	△51
流動資産合計	128,646	130,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,377	8,182
機械装置及び運搬具(純額)	3,478	3,574
工具、器具及び備品(純額)	1,407	1,348
土地	3,552	3,576
リース資産(純額)	628	583
建設仮勘定	388	362
有形固定資産合計	17,833	17,628
無形固定資産		
のれん	4,729	3,907
商標権	480	423
ソフトウェア	962	856
その他	1,051	949
無形固定資産合計	7,223	6,135
投資その他の資産		
投資有価証券	40,281	43,743
長期貸付金	171	237
繰延税金資産	383	465
投資不動産(純額)	2,967	2,988
その他	3,991	3,925
貸倒引当金	△265	△330
投資その他の資産合計	47,529	51,030
固定資産合計	72,587	74,794
資産合計	201,234	205,357

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,169	9,506
電子記録債務	7,849	8,396
短期借入金	192	213
未払金	20,191	19,534
リース債務	56	54
未払法人税等	3,357	3,000
未払消費税等	1,090	811
返品調整引当金	1,409	1,115
賞与引当金	1,147	1,108
資産除去債務	37	38
その他	3,472	2,934
流動負債合計	46,975	46,716
固定負債		
リース債務	581	540
繰延税金負債	3,841	4,182
退職給付に係る負債	4,337	4,276
役員退職慰労引当金	33	34
資産除去債務	80	81
その他	2,063	2,080
固定負債合計	10,938	11,196
負債合計	57,914	57,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,958	4,183
利益剰余金	147,901	142,660
自己株式	△21,088	△12,380
株主資本合計	135,221	137,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,481	11,164
繰延ヘッジ損益	40	14
為替換算調整勘定	680	268
退職給付に係る調整累計額	△2,171	△1,960
その他の包括利益累計額合計	8,031	9,486
新株予約権	67	44
純資産合計	143,320	147,445
負債純資産合計	201,234	205,357

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	107,653
売上原価	40,103
売上総利益	67,549
販売費及び一般管理費	50,399
営業利益	17,149
営業外収益	
受取利息	192
受取配当金	198
不動産賃貸料	222
その他	219
営業外収益合計	832
営業外費用	
支払利息	16
売上割引	485
不動産賃貸原価	62
為替差損	180
その他	244
営業外費用合計	990
経常利益	16,992
特別利益	
固定資産売却益	0
その他	3
特別利益合計	4
特別損失	
固定資産除売却損	57
減損損失	333
投資有価証券売却損	0
その他	72
特別損失合計	463
税金等調整前四半期純利益	16,533
法人税、住民税及び事業税	5,832
法人税等調整額	△1,040
法人税等合計	4,792
四半期純利益	11,740
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,740



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	11,740
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,682
繰延ヘッジ損益	△25
為替換算調整勘定	△412
退職給付に係る調整額	210
その他の包括利益合計	1,455
四半期包括利益	13,196
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	13,196
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年2月1日開催の取締役会決議に基づき、平成29年2月17日付で、自己株式3,000,000株の消却を実施し、資本剰余金が770百万円、利益剰余金が9,339百万円、自己株式が10,110百万円減少しました。また、平成29年2月1日開催の取締役会で決議し、平成29年3月30日開催の第99期定時株主総会で承認されました、第三者割当による自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は3,261百万円、利益剰余金は3,260百万円減少しました。さらに、平成29年2月1日開催の取締役会決議に基づき自己株式の取得を行い、自己株式は4,999百万円増加しました。

この結果等により、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金は4,183百万円、利益剰余金は142,660百万円、自己株式は12,380百万円となりました。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	国内 家庭用 品製造 販売事 業	海外 家庭用 品製造 販売事 業	通信 販売事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	85,786	13,503	7,448	106,738	914	107,653	—	107,653
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,542	829	—	5,371	3,874	9,246	△9,246	—
計	90,329	14,332	7,448	112,110	4,789	116,899	△9,246	107,653
セグメント利益又は損失 (△)	16,039	391	△109	16,321	1,025	17,346	△353	16,992

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療関連事業、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△353百万円は、セグメント間取引消去及び各事業セグメントに配分していない収益及び費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となった該当事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

当該事象による減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、333百万円です。

(のれんの金額の重要な変動)

「国内家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となったのれんについて、減損損失を計上しております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては、227百万円であります。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当該のれんの減損も含めて記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。